

掌蹠膿疱症の臨床的特徴及び局所光線療法の治療効果についての検討 に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間： 2022年11月17日～2027年3月31日

〔研究課題〕

掌蹠膿疱症の臨床的特徴及び局所光線療法の治療効果についての検討

〔研究目的〕

掌蹠膿疱症は手掌足底に対称性の無菌性膿疱を形成し、慢性に経過する疾患です。掌蹠膿疱症の関節炎の合併率、副鼻腔炎・齲歯・扁桃炎などの慢性感染症の併発頻度、掌蹠での皮疹の分布や掌蹠外皮疹の出現頻度・分布を調べ、さらには各治療法、特に光線療法に注目し、その有効性を検討します。

〔研究意義〕

掌蹠膿疱症の関節炎の合併率、副鼻腔炎・齲歯・扁桃炎などの慢性感染症の併発頻度、掌蹠での皮疹の分布や掌蹠外皮疹の出現頻度・分布を調べ、さらには各治療法、特に光線療法に注目し、その有効性を検討します。新たな治療法が明らかとなる可能性があります。

〔対象・研究方法〕

2015年4月から2021年12月31日までに帝京大学医学部附属病院皮膚科を受診した掌蹠膿疱症患者約30名を対象となります。それぞれの患者さんの皮疹の部位別の改善度、生活の質スコア、痒みのスケール、検査値などを後ろ向きにカルテより調べ、傾向を分析します。

〔研究機関名〕

帝京大学医学部附属病院 皮膚科

責任者：帝京大学医学部皮膚科学講座 主任教授 多田弥生

〔個人情報の取り扱い〕

個人情報は厳重に管理されます。学会や論文など学外へ情報を発表する際には個人が特定できない形に加工するため、患者さんが特定されることはありません。対象となる患者さんで、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。ご協力よろしくお願い申し上げます。

対象となる患者さんで、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。ご協力よろしくお願い申し上げます

問 い 合 わ せ 先

研究責任者：帝京大学医学部皮膚科学講座 主任教授 多田弥生

研究分担者：准教授 鎌田昌洋、シニアレジデント 新村佳子

住所：東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL:03-3964-1211 (代表) [内線 32610]